

保護者等からの放課後等ディサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 7年 8月 5日

事業所名 こばんはうすくら 北九州戸畠教室 保護者等数(児童数)25 回収数 16 割合 64%

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15件	1件			広いです。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10件	3件		3件	沢山先生がいます。理学療法士さんや作業療法士さんもいらっしゃいます。	配置基準以上の職員を配置しております。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11件	3件		2件		
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等ディサービス計画*1が作成されているか	15件	1件				
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15件			1件		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1件	2件	1件	12件		児童クラブとの交流はないですが、公園や児童館へ行く機会を設けています。今後はさらに地域のお子様たちと交流ができるようにサポートしていきたいと考えています。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14件	2件				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができるているか	11件	5件				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13件	1件	1件	1件		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		3件	4件	9件		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応しているか	13件	1件		2件		
非常時等の対応	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12件	2件	2件		・送迎の際に職員に伝えたことが他の職員に共有されていないことがあった。プログラムの内容を知らされてなくお弁当が無駄になつたことがあった。放ディの利用について説明を希望したが説明がなかった。 ・毎回連絡帳でその日の活動を確認できるのと、送迎時に様子を伝えてくれています。	今一度職員間の共有の徹底に努めたいと思います。その節はご迷惑をおかけ申し訳ございません。プログラムの内容は変更することもございますが、その都度連絡をさせていただきたいと思います。放ディへの移行についてには来所していただき面談にて説明の機会を設けてご案内しております。その他6ヶ月に一度面談の機会や随時ご相談がありますからお話を伺いできればと存じます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13件	2件		1件		自己評価についてはHP(ホームページ)にて毎年掲載しております。その他、インスタグラムなどで活動内容などを発信しておりますのでご覧いただけます。
	14 個人情報に十分注意しているか	16件					
満足度	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11件	3件		6件		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10件	3件		5件		避難訓練にて、地震や火災、不審者を想定した訓練を実施しています。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	14件			2件	とても楽しみにしています。	
	18 事業所の支援に満足しているか	13件	3件			とても細かなところも見てくれているので満足しています。	ありがとうございます。お気づきの点やご心配なことがありましたら、その都度お知らせいただければと思います。

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8件	1件	・基準以上のスペースを確保している ・日の利用人数によっては運動等活動内容を工夫している。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9件		・基準配置を尊守しています
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9件		・活動する場所と宿題をする場所が分かれています、お子さんが分かりやすい環境になっている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9件		・手洗いやトイレに行く際の出入り口が2つあることで、お子さんたちの活動の導線に合った環境になっている ・支援後に掃除機で清掃、朝には床拭きで清潔さを保つようにしている
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8件	1件	・勉強スペースは集中出来るよう席を離して座ったり、パーテーションを設置したり等工夫している ・必要に応じてパーテーション等で区切って対応はしているが、個別対応出来る部屋があるとよりお子さんに合わせて対応できると感じる
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9件		・行事や支援に関して職員会議で振り返りや改善策を話し合い、次回の支援に活かすようにしている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9件		・職員会議等で周知があり、改善点を話し合っている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9件		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8件	1件	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9件		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9件		・曜日によってプログラムが固定されないよう作成し、行事の際は細かく内容を文章でお伝えしている(持参物や金額等)
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9件		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9件		・児発管や一部の職員だけでなく、支援に関わる全ての職員で支援について話し合うようにしている
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9件		・個別支援計画に関しては、職員会議やカンファレンスで共有し、統一した支援が行えるようにしている
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9件		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9件		・ガイドラインに沿った内容で子どもに合わせスモールステップで目標や支援内容を設定している

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9件		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9件		・固定化しないよう事前にプログラムが決められている ・季節行事も取り入れるようにしている
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9件		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9件		・普段と様子の異なるお子さん等気になる点はその都度話し合うようしている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9件		・その日のプログラムやお子さんの様子で気になること等を終礼や支援に入った職員同士で話し合っている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9件		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9件		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	9件		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9件		・おやつでは好みに合わせて決められるよう10~50円の中でお子さんが選択出来るよう工夫している ・公園に外出時に写真を見せ、どこに行きたいかそれ意見を出してもらってから決定したり選択の機会を設けている
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9件		・担当者会議には、児発管のみならず日頃支援に入っている職員も参加しお子さんの詳細な情報を伝え出来るようにしている
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8件	1件	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9件		・学校への送迎時には担任にその日の様子を聞き、職員間で共有するようにしている
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9件		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7件	2件	・対象者がまだおらず、機会がなかった
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7件	2件	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	8件	1件	・公園に行った際に、來ていた地域のお子さんとドッジボール等で交流していた
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7件	2件	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9件		・送迎時やHUGの連絡帳で活動内容やお子さんの様子を細かくお伝えするようにしている
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8件	1件	・運動会で保護者の方に参加してもらうプログラムや日頃の見学等で機会を設けている
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9件		・契約時に必ず丁寧にお伝えするようにしている
等への説明	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9件		・定期的な面談にて保護者及びご家族の意向を確認している

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9件		・面談時の内容をもとに個別支援計画を作成し、ご質問や訂正等がないか確認してからサインをいただいている
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9件		・必要に応じて個別にお電話し、ご相談に対してのアドバイスを行っている
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8件	1件	・運動会開催時に父母同士の交流の機会を設けている ・今後は保護者を交えてのレクレーションなども検討していきたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9件		・児発管や管理者だけでなく、全職員が共有と振り返りをし改善できるようにしている
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9件		・こばんだよりやInstagramで活動内容を発信している
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9件		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9件		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9件		・餅つきを開催した際に地域の方を招待している
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9件		・避難訓練や感染症への対応、事故防止等に対し、委員会や研修が行われている
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9件		・アレルギーや誤飲、服薬等のあるお子さんについては、利用開始前に必ず児発管や管理者から周知がある
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9件		・机を別にする等、十分注意して対応している
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9件		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9件		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9件		・終礼で報告と記録を行い、同じことを繰り返さないよう改善策を話し合い、周知を図っている
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9件		・必ず全職員が研修を受け、虐待防止への意識をもって支援を行っている
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9件		・研修時にやむを得ず身体拘束を行う際の条件を確認している